

今日で、2学期も終了です。皆さんにとって、どんな2学期だったでしょうか。9月の文化祭の後、3年生は、就職試験や入学試験にチャレンジしてくれました。2年生は、北海道での研修旅行を経て、3年生が引退した部活動や、生徒会活動などで、学校の柱としての活動を始めてくれました。1年生は、職業インタビューの発表、エリアや科目選択などを通して、自分の進路に向けての取組みを進めてくれました。私は皆さんのおかげでとても楽しく充実した2学期でした。

さて、今日皆さんに通知表をお渡しします。主に皆さんの授業での活動が評価されています。昨日、私たちは成績会議を開き、皆さんの成績について話し合いました。いい成績を残してくれた人「おお、この子ががんばってるなあ。」と喜び、逆に成績が悪くて、卒業や進級が危ない人については、「何が問題かな、どうしたらいいやろ。」など、その原因と今後の取組みについて、話し合いました。その結果を、担任の先生を通じて聞く人もいるでしょう。そのアドバイスを受けて、自分でどうすべきかを考えてください。そしてそれを実行してください。決して他人事ではありません。自分自身の問題として、真剣に考えてください。皆さんが考えている以上に、世間では高卒の資格は大きいです。高卒でないと就けない仕事、高卒でないと行けない学校、高卒でないと取れない資格があります。

そういう皆さん、そしてまだ進路が実現できていない3年生に、いつものように、「スラムダンク」の安西先生の言葉を贈ります。

「最後まで・・・希望を捨てちゃいかん。あきらめたら　そこで試合終了だよ。」

そして、その言葉を聞いた三井くんが、「安西先生、バスケが、したいです。」と言って立ち直り、全国大会出場を果たしたように、

「先生、卒業が、したいです。」「進級が、したいです。」

「〇〇学校に、行きたいです。」「〇〇会社で、働きたいです。」

という思いを強く持って、取り組んでください。

そして成績の良かった人、おめでとう。よくがんばりました。私も嬉しいです。でもこれはあくまで、緑風冠の中での話です。「もう、これでいいわ。」と自分で限界を決めずに、どんどん力を伸ばすとともに、校外模試などで、他の高校生と腕試しをやっていきましょう。

この2学期には、皆さんや保護者の方から、学校教育自己診断や授業アンケートを通じて、緑風冠も評価してもらいました。ありがとうございました。その結果は追ってお知らせしますが、緑風冠をもっと良くするためにどうすべきかをよく考えて、皆さんには「緑風冠に入って良かった」、中学生には「緑風冠に入りたい」と思ってもらえるような学校、「生徒が主役」の学校を作っていきます。授業でも部活動でも学校行事でも生徒会活動でも、皆さんが「主役」、つまり「センターポジション」です。ただ、「主役」には、それなりの責任と自覚も必要です。「主役」としての心構えや行動などについては、この後、生徒指導部の中川先生から、話をしてもらいましょう。

それでは、よい年をお迎えください。1月8日にまたお会いしましょう。